



高井戸東小学校

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/takaidohigashisyou/> TEL 03-3304-5711

5月号
No. 638

いのちの教育月間

校長 馬場 章弘

杉並区では2005年から5月・6月・9月・10月を『いのちの教育月間』として、一人一人の命を大切にする教育を行っています。

この活動は子供たちの自殺防止の取り組みから始まったものです。令和6年度の小中高生の全国の子殺者数は532人で過去最高となっています。これに加えて最近では虐待や盗撮など子供たちを取り巻く環境は良いと言えるものではなく、家庭や学校、地域が力を合わせて子供たちの命を守る必要が出てきています。

本校でも道徳やその他さまざまな学習において、自分ばかりでなく友達の名も大切にする、動物や植物の名も大切にするなど学んでいます。「自分の命も友達の名も大切にする」という学習の中にコミュニケーションがあります。日頃子供たちは「仲良くなりたい・一緒に遊びたい」と思っているにもかかわらず、つついたりちょっかいを出したりして少しずつ強くなり、最終的に喧嘩になってしまうことがあります。また、全く悪気はないのに、友達に対する言い方が強くなってしまったりもありません。子供ですからコミュニケーションのとり方が未熟なのは当然です。しかしこのままでは自分も友達も大切にしてもらうことはできません。むしろ

傷ついたり傷つけられたりしてしまいます。相手に不快感を与えないコミュニケーション、伝わる話し方を日々の生活や学習を通して学んでいます。

ただしこれは、学校で学んだからといってすぐに身につくものでもありません。特に重要なのは、各家庭での言語環境やかかわりあい方です。学校で学んで望ましいコミュニケーションの在り方が知識としてわかっている、家族(例えば兄弟姉妹など)のかかわり方が暴力的だったり攻撃だったりすると、それが当たり前になってしまい、友達へもそのような接し方をしてしまうことがあります。そうすると、本人はそのつもりがないのに周囲からは「あの子は乱暴」「あの子は言い方がきつい」「やめてほしい」と言ってもやめてくれないなどのレッテルを貼られてしまい、しだいに孤立感を味わうことになってしまいます。これが、学校と家庭が力を合わせて子供たちを育てていく大切さの理由です。

家庭でも学校でも自分の気持ちや考えがスムーズに伝わるよう家庭環境も含めて力を合わせ、コミュニケーション力を伸ばしていければと考えています。それが、お互いの「命を大切にする」ということにつながっていきます。

生活指導について

生活指導主任

新年度が始まり、子供たちは期待とともに新しい環境への不安も感じていることと思います。始業式では、「気持ちの良い挨拶」を大切にしようという話をしました。挨拶は、相手だけでなく自分の心も明るくし、安心して学校生活を送るための大切な第一歩です。笑顔と声のあいさつが広がることで、子供たちが安心して過ごせる高井戸東小学校になってほしいと考えています。

5月の安全目標は「自転車の正しい乗り方を知らう」です。自転車は便利な反面、ルールを守らなければ大きな事故につながります。近年、自転車の交通違反に対する制度が見直され、より一層、安全意識とルール遵守が求められています。ヘルメットの着用や一時停止、並進禁止など、基本的な決まりについて話題にいただき、学校と家庭が連携して子供たちの安全を守ってほしいと思います。